

今月の津山人

津山中央病院 総合内科・感染症
内科特任部長 感染制御責任者
藤田 浩二さん



新型コロナウイルス感染症が世界的に流行しています。津山中央病院で感染症対策の第一線で活動し「津山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」で助言をしている医師・藤田浩二さんに、新型コロナウイルス感染症について聞きました。

新型コロナウイルス感染症の特徴は？

患者数が最初に多かった中華人民共和国で死亡率が高いのは、高齢で肺や心臓の病気を持つ人たちです。それ以外の人（全体の約8割）は軽い風邪の症状で治まります。ただ、軽症で終わる人が多いため、普段どおりの活動をする結果、周囲にウイルスが広がり重症者を増やすという特徴があります。

感染した時の症状は？

風邪と同じ症状が出る人もいれば、発熱しない人もいます。症状だけで感染したかどうかの判断が出来ません。ただ、多くの人は1週間以内に回復します。1週間を過ぎて息切れや体の状態が悪くなった場合は、注意が必要です。

治療方法は？

3月26日時点の情報では、有効な治療薬は見付かっていません。治療方法は、点滴と酸素の投与が中心になります。

感染しないための対策は？

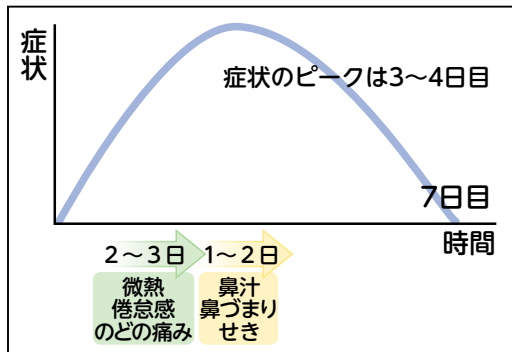
次の「3つの行動」を勧めています。

①手指衛生（アルコールを使った手指消毒や石けんと流水による手洗い）②せきエチケット（7ページ参照）とサージカルマスク（市販の医療用不織布マスク）の適切な使用③3つの密（密閉・密集・密接）を避ける。

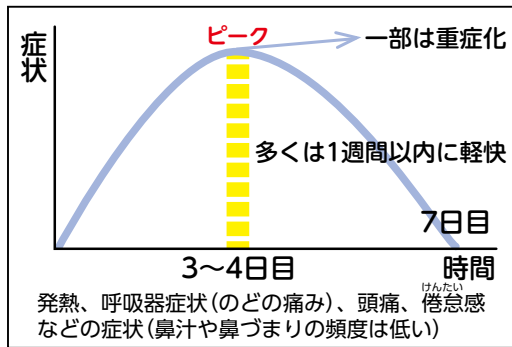
自分を守ることで、周囲への感染も防げるので、家族や地域を守ることに繋がります。

津山市の皆さんに伝えたいこと

「正しく怖がること」「重症化する人を意識すること」が大切です。怖がる気持ちが沸くのは仕方ないことですが、「正しい情報を得ること」を心掛けて、うわさ話や誤った情報に惑わされないでほしいです。多くの人は、感染しても1週間以内に回復します。「3つの行動」を心掛けて「適度な緊張感」を持ち、みんなで重症化する人を守りましょう。



風邪にかかった時の経過図



新型コロナウイルス感染症にかかった時の経過図

※ 3月26日に取材した内容を掲載しています

4月の人事異動で他部署に異動になりました。取材などでお世話になった皆様、大変ありがとうございました。在籍した平成26年8月〜令和2年3月の間、たくさんの方の経験を積むことができました。幅広い情報が入ってくる広報係で得た糧はとて大きいです。来月からは新しいメンバーです。お楽しみに♪(W)

時々起こる原稿の差し替え。今月号ほどたくさんの方の記事が差し替わったのは初めてでした。作った記事を掲載できなくなるのは、ただでさえ辛いのですが、今回は東京2020関係で、いろいろの人に取材をしていただけにとても残念です。皆さんの素敵な笑顔を、楽しく紹介できる日が早く来ますように。(一)

表紙の第23回津山武道祭を取材しました。なぎなたと居合の模範演武を見て、武道独特の問合いが気になり、調べてみると「残心」という言葉があることを知りました。「勝っておごらず負けて悔やまず、常に節度ある態度を堅持する」。取材後の写真を見ながら、仕事でもこの気持ちが続けたいと思いました。(二)

